

ミッション・ビジョン	地域で支えあって子育てしていける社会の実現
活動年数	25年目 (1996年任意団体として発足/2004年NPO法人化/2014年認定NPO法人に認定)
主な活動場所 職員数	新潟県上越市 約40名
財政規模	約6千万

その他団体の詳細はこちら



【申請事業について】

▶背景：法改正による「親の体罰禁止」明確化/進む少子化/新型コロナの影響

事業名	主な受益者	活動内容 (アウトプット)	活動の成果(アウトカム)
虐待を未然に防ぐためのWS	保護者・子ども	年間3回	<ul style="list-style-type: none"> 適切なしつけの方法がわかる 肯定的な養育イメージを持つ
「寄り添い型支援」研修会	子育て支援者	年間2回	<ul style="list-style-type: none"> 寄り添い型支援や予防的役割について理解を深める 地域の支援者の資質向上
専門家によるSV	法人スタッフ	年間2回	<ul style="list-style-type: none"> 法人スタッフのスキル向上 上記の2つの取組の改善・改良
啓発フォーラム	上越地域の子育て・子育て支援に関心のある人	年間1回	「地域で支え合う子育て」について地域の理解が進む



どうしてる？日々の暮らし

問題解決のひとつ「他者に頼る力」を子育て中の保護者同士がワークショップを通して考える機会。

▶ 「子育てのスタート期を孤立させない」ためのアプローチ



はじめのいーっぽ

新型コロナ禍に妊娠・出産した人へ向けた「地域へ出る『初めの一步』となるようなきっかけづくりの場」を開設。



子育て応援ひろばふう

親子の居場所づくり。感染症対策に留意して運営。今年度は孤立しがちなマタニティにも積極的に参加を呼び掛けている。

冊子「しつけちえぶくろ」

「そもそもしつけって何？」という保護者の声に応えた、しつけの基本がわかる冊子の作成。



行政や他団体との連携・協働事例

地域の親子のために

参加したい人が、より多く参加できることに

市も子育て支援講演会を行いたかった

行政

docomo申請事業

連携した事業広報。

啓発イベントについては、市が共催となることで大きな会場で行えるよう準備中。

じょうえつ子育てinfo

上越市や地域企業・団体とともに「新潟県新しい公共の場づくり支援事業」に応募。

市から受託していた地域子育て支援拠点内で開始。

後に、「利用者支援事業」として国が各市町村で実施。

企業・他団体

おやこフェス

地域の企業・団体、約30団体と、乳幼児のいる家庭を結ぶ催しを開催。

子育て家庭が地域から応援されていることを実感するとともに、社会全体で子育てをする機運を高める。

▶▶▶ 行政との協働について ▶▶▶

親子のニーズをキャッチ



NPOとして取り組む
(様々な助成金なども活用)



成果を確認



実現できるかたちで行政に働きかける

ニーズを伝えられるよう留意
(政策提言)

① これからの連携・協働の進め方

行政

担当課との信頼関係を大切にし、母子保健関係部門とも連携強化をめざす。親子の身近な場所にいる支援者として、行政とともに支援を必要とする親子の見守りを行う。

企業・団体

連携できる地域企業を増やし、「寄り添い型支援・虐待予防」への理解を深めてもらう。
企業と共に行うイベント等で啓発できるようにめざす。

② 本事業で得られた効果の波及促進

人材

本事業により得られる効果(当法人スタッフの資質の向上、地域の人材育成)を、日々の支援につなげていくと共に、当法人の力としていく。

事業継続

本事業で得られたノウハウやWS手法から、さらなるブラッシュアップを続け、支援の必要性を積極的に広報する。学童期の親や、県内の保護者へ対象を広げていく。

③ 今後の予定

★は開催当日

事業名	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
専門家によるSV			★			★			
虐待を未然に防ぐためのWS			←→ SVを受けて改善 ★			←→ SVを受けて改善 ★			
「寄り添い型支援」研修会	★			←→ SVを受けて改善 ★					
啓発フォーラム	(講師と日程調整中)		←→ 準備・広報				★★★★★★★★★★★★★ 開催予定期間		